

社会科

7年1組 28名

呉市立片山中学校

指導者 江口 大貴

単元名

アジア州-急速な都市の成長と変化-

内容のまとめ

第1学年「アジア州」(全8時間)

1 単元の構想

【単元観】

本単元は、中学校学習指導要領 第2章 第2節 社会 地理的分野 2内容 B世界の様々な地域 (2)世界の諸地域の内容に基づき設定した。学習指導要領では、身に付けるべき事項として、「世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解すること」と「世界の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的な特色を大観し理解すること」を挙げている。

アジア州は、北部には「世界の屋根」とも呼ばれる、ヒマラヤ山脈、チベット高原などの山脈、内陸にはいくつかの砂漠が存在しているほか、沿岸部では季節風の影響もあり、降水量が多く、大きな川が流れている場所もあるなど、様々な自然環境が混在している地域である。人々はこのように異なる自然環境の中で様々な文化を形作りながら過ごしてきた。例えば、現在、世界でも有数の人口である中国、インドは古代文明の時代より大河から生活用水、農業用水を活用し、多くの人々が過ごしてきた場所であり、仏教に代表される宗教や文化もおこり現在まで受け継がれている地域でもある。このように、アジア州の豊かな自然や、それを基に築かれてきた人々の生活や文化は、現在の私たちにも大きく影響している。

また、近年、アジア州では、様々な地域で急激に産業が発展しており、中国、インドなどを中心に、経済の発展も著しい。一方、経済発展に伴う課題も多く、都市人口の急増による都市問題、地域間や国内での格差の拡大なども大きな問題となっている。

この単元は、日本も属しているアジア州について知識を深め、アジアの自然環境や古くからの文化が、現在のアジア州の姿や私たちの生活にも関わりがあるということを理解できるものである。またアジア州の様々な地域の経済発展や課題について、アジア州内での地域間のつながりや、それぞれの地域の日本との関わりについても触れながら知識の定着、考察、表現を繰り返し、単元を進めていく。このような学習は、これから進めていく他の州の学習とも関連のあるものであり、また、現在、世界で顕在化している課題が地域的特色を基に現れているのだということを理解し、今後の他地域の学習の基盤ともなる単元であると言える。

以上を踏まえ、「社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す」地理的分野の目標に即したものであると考え、本単元を設定する。

【生徒観】

事前に行ったアンケート調査で、地理的分野の学習について「地理の学習は好きですか」という質問をすると以下のような結果となった。

肯定的回答

16/25人 (64%)

以上の結果から、地理の学習に関して、4割程度の生徒は苦手意識をもっているということが分かる。

また同じアンケートで、「中国についてのイメージ」を自由記述式で質問したところ、「人口が多い」「機械がすごい」「中華料理」などの回答があり、大まかなイメージはあるが、中国の具体的な特色に言及している生徒は少なかった。

振り返りについての項目では、以下のような回答があった。

振り返りを書くことは授業内容を理解することに役立ちますか？	振り返りの文章をうまくまとめられますか？
84%(肯定的回答)	52%(肯定的回答)

以上のことから、毎時間の振り返りに関して、「授業内容を理解することに役に立つ」と考える生徒の割合が8割以上いるのに対して、「振り返りの文章をうまくまとめられている」と感じている生徒は、全体の約半数であり、振り返りの必要性は感じている生徒が多い一方で、振り返りを書くことに苦手意識がある生徒も多いことが分かる。

令和4年度1学期末 学校評価アンケート(1学年 84名)

アンケート内容	肯定的回答の割合
授業では、お互いに学び合いながら学習することができていました。	94.4%
授業でのグループ活動では積極的に発言しています。	80.6%

また、以上のように、多くの生徒は「学び合う」ことを肯定的に捉えている。しかし、グループ活動の中で積極的に発言している生徒は約8割であり、自分の意見を表現することができていないと感じている生徒もいることが分かる。学級の雰囲気は明るく、話し合いが活発なときもあるが、個人差があり、発言する生徒が限られている現状がある。

【指導観】

アジア州では自然環境の下に、古くから多くの人々が生活をし、豊かな文化を育んできた。その生活や文化は現在の私たちにも影響し、アジアの各地域は日本とも関わりが深く、日本で暮らす私たちもアジア州の様々な地域と関わりをもちながら生活をしている。

この単元では、本質的な問いを、「地球上ではどのようなことが起こり、私たちはどのように行動すればよいだろう」と設定し、「アジア州の経済発展や課題」について注目し、資料の読み取りや話し合いを通じて、アジア州の特色や、現在の課題についての知識の定着を目指していく。また、アジア州の各地域に関して、個人思考、グループでの話し合いを通じて考える活動を多く取り入れ、クラス全体で、異なる複数の資料を読み取っていく「ジグソー法」も行う。本時では、中国についての数多くの資料を、グループに分けて読み取ることで、自分の見方だけではなく、多面的・多角的な視点で中国の特色についての知識を定着させていきたい。また、グループの話し合いの際は、数多くの情報を整理、考察していくために「ロイロノート」を活用し、「中国の発展が続いていくためにはどのようなことが必要か」という問いへの考察に時間をかけて丁寧に取り組めるよう、展開していきたい。

単元を通して、グループ活動の際は、自らの考えをもち、それを表現し、より深めていけるように、個人活動の時間もしっかりと確保した上で、グループ活動を行っていく。グループ活動の際はワークシートを活用し、個人の意見を班で共有しやすいように活動を進め、自分の意見を修正し、深められるようにしていきたい。

また、授業の終わりには、自分、班、クラスの人々の意見を踏まえての振り返りを書くことによって、単元をまとめる際に、考察を進める材料として活用したい。

単元を貫く
問い

なぜ、アジア州は急速に経済発展したのだろうか？

学び合いの種 (思考過程、言語活動等の表現の場におけるしかけ)

- 問いに対する予想や、資料から読み取れたことを、自分のワークシートに書かせる。
- 班やクラスでの意見交流の際に、他の人の意見をワークシートにメモさせる。
- ロイロノートを活用し、他の班が読み取っている資料やワークシートを共有することで、他の班の話し合いの様子も自分のタブレットで見られるようにする。

2 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- アジア州の急速な経済発展や課題が、地域的特色の影響を受けて現れることを理解する。(知識及び技能)
- アジア州において起こっている急速な経済発展や課題の要因について、アジア州の各地域の特色や、それぞれの結び付きに着目して考察し、表現する。(思考, 判断, 表現力等)
- よりよい社会の実現を視野に、アジア州の急速な経済発展の要因や課題について主体的に追究しようとする態度を養う。(学びに向かう力, 人間性等)

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① アジア州の急速な経済発展や課題が、アジア州の特色の影響を受けて起こっているものであることを理解している。 【(2) ア (ア)】	① アジア州で見られる急速な経済発展や課題について、その要因や影響を、各地域の結び付きに着目し、地域的特色と関連付けながら、多面的・多角的に考察している。 【(2) イ (ア)】	① アジア州についての知識や考察を基にして、よりよい社会の実現という視点を持ちながら、アジア州の急速な経済発展と課題を主体的に追究しようとしている。
② 人々の生活についての資料を基に、アジア州の地域的特色を大観し、理解している。 【(2) ア (イ)】	② 学んだことを、相手に伝えることを意識しながら、自分なりの言葉や文章でまとめ、表現している。	

3 指導と評価の計画 (全 8 時間 本時第 4 時)

時間	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	・SDGs について知り、世界で起こっている課題について考える。 ・アジア州の現状と課題について予想する。	②		①	・行動観察 ・振り返りシート
2	・アジア州の自然環境や文化について理解する。 ・自然環境や文化は、アジア州の急速な経済発展にどう影響しているか予想する。	②	①		・ワークシート ・振り返りシート
3	・アジア NIES の成長について理解する。 ・アジア NIES における課題について考察する。	①	①		・ワークシート ・振り返りシート
4	・中国の経済発展や、課題についてまとめる。 ・中国の発展が続いてくために必要なことを考察し、表現する。 (本時)	①	①		・ワークシート ・振り返りシート
5	・東南アジアの経済発展と課題について資料を読み取り調べる。 ・調べたことについて意見交流する。	①	②		・行動観察 ・振り返りシート ・ロイロノート
6	・インドの経済発展や課題についてまとめる。 ・なぜ、インドは急速に経済発展したのかを考察する。	①	①		・ワークシート ・振り返りシート
7	・西アジア・中央アジアの経済発展と課題について調べる。 ・調べたことについて意見交流する。	①	②		・ワークシート ・振り返りシート
8	・単元で学んだことを意見交流し、振り返る。 ・なぜ、アジア州が急速に経済発展したのかを考察し、表現する。		②	①	・行動観察 ・振り返りシート ・ロイロノート

4 本時の学習

(1) 本時の目標 中国の急速な経済発展の要因と課題について考え、表現できる。

(2) 学習の展開

	学習活動	◆指導上の留意点 ◇予想される生徒の反応	評価規準 【評価方法】
課題発見	1 事前アンケートの中国のイメージについて紹介する。 ・本時のめあてを確認する。	◆経済発展についての解答について集約しておく。 ◇強い、大きな権力 ◇今も昔も大国 ◇ビルとかが多い	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #4CAF50; color: white; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-bottom: 5px;"> 思判表 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 5px;"> めあて 中国の急速な経済発展の要因と課題について考え、中国が発展を続けていくためにどのようなことが必要か説明できる。 </div>		
	・他の、中国に対するイメージを紹介する。	◆生徒が調べる、「工業」「人口」「農業」に関わるものを紹介する。 ◇機械がすごい ◇人が多い ◇中華料理	
自力解決	2 中国の経済発展の背景について調べる。 ・個人で資料を読み取る。	ICT 中国に関して「工業の発展」「人口の増加」「農業」の別々の読み取りを行えるよう、ロイロノートで2グループずつ違う資料を送る。 ・A グループは「工業の発展」について、「世界の総輸出額上位5か国の推移」「主な電子機器の生産に占める中国の割合」「中国でつくられた製品」の資料を読み取る。 ・B グループは「人口の増加」について、「中国の人口密度」「上海の駅の様子」「経済特区の場所」の資料を読み取る。 ・C グループは「中国の農業」について「中華料理のメニュー表」「豚と野菜の国別生産割合」「主な野菜の日本の輸入割合」の資料を読み取る。 <u>※各資料は別紙参照</u> ◆ロイロノートで送られた資料から読み取った情報をワークシートに書かせる。	

		<p>◇(A グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界への輸出額が増えてきている。 ・たくさんの機械を輸出している。 ・日本にも輸出されている。 <p>◇(B グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸部の人口密度が高い ・駅に人が多い ・経済特区をつくり外国の企業を呼んでいる。 <p>◇(C グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉や野菜などを使っている ・豚肉や野菜の生産が多い ・中国の野菜が日本にも輸出されている。 	
<p>集団解決</p>	<p>3 個人の意見を班で交流する。</p> <p>・それぞれの資料のつながりを考える。</p>	<p>◆自分たちの班に配布された資料について自分が読み取ったことを班で交流させる。</p> <p>◆自分が気付いていなかったことを書いている人がいたら参考にしてワークシートに書かせたり、自分の考えに加えさせたりする。</p> <p>◆話し合いの様子を見ながら、途中でそれぞれの資料のつながりについて考えさせる</p> <p>◇(A グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子機器や工業製品を多く生産し、日本を含めた世界に輸出している。 <p>◇(B グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済特区をつくったことで、その周辺に人口が集まり、沿岸部が発展している。 <p>◇(C グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの農作物がとれるので国民の食料が自分たちの国で確保できる。 ・余った食料は輸出することができる。 	
	<p>4 班ごとの意見をクラスで共有する。</p>	<p>◆班ごとに発表させ、板書を行い、クラスで共有する。</p> <p>◆板書をワークシートにメモさせる。</p>	<p>知 中国の経済発展や課題が、中国の特色の影響を受けて起こっていることを理解している。</p> <p>【ワークシート】</p>

	<p>5 中国の発展が続いていくにはどのようなことが必要かを考える。</p> <p>発問 中国の発展が続いていくためにはどのようなことが必要だろうか？</p>	<p>◆それぞれの班の資料をタブレットに送信し、共有できるようにする。</p> <p>◆発問と同時に「都市と農村の収入格差」、「中国の地域別 GDP」「大気汚染」の資料を提示し、中国の格差、環境問題 という課題に気付くことができるようにする。</p>	
<p>学び合いの種</p> <p>中国の収入格差や、環境問題等についての資料を提示し、グループ活動で調べたことを基にして、中国国内の現在の課題や、どのように解決するかについて考えさせる。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人で考える。 ・ 班で考える。 	<p>◆個人思考が難しい場合はグラフを見て気付いたことを、キーワードでもよいので書くように伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農村の人の収入が少ない。 ・ 沿岸部で GDP が多く、内陸部で GDP が少ない。 ・ 街に排気ガスが多い。 <p>◆それぞれが読み取ったことを踏まえて、中国にはこれからどのようなことが必要か、そう考えた理由についてワークシートに書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内陸部で収入が少なく、沿岸部で収入が高いので、内陸部や農村で収入を増やせるようにする。 ・ 二酸化炭素が多く、環境問題が起こっているので、環境に配慮する。 	
<p>ま と め</p>	<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国が発展した理由の一つとして、多くの電子機器や工業製品を輸出していることが考えられる。 ・ 中国では、内陸部と沿岸部での格差が広がっているので、格差をなくしていくことが必要。 ・ 中国では、二酸化炭素の排出量が多いので、環境への配慮が必要。 		

	<ul style="list-style-type: none"> 中国の格差をなくしていくための取組と、環境問題への取組について紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆課題について、中国では新たな取組も行われているということをおさえる。 	
振り返り	6 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ◆キーワードを決めて、学んだことを思い出しながら書かせる。 	思 中国の急速な経済発展の背景と課題について考察し、表現している。 【振り返りシート】
<p>【振り返り例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国の経済発展の理由としては、多くの電子機器や工業製品を輸出していることが挙げられる。しかし、工業が発展したことで、環境問題などの課題もあり、改善するための取組も行われていることが分かった。 中国の経済発展の理由としては、経済特区をつかったことで、沿岸部に人口が集まり、都市が発展したことが挙げられる。しかし、農村部の人が少なくなり、格差が広がっているという課題もあり、改善するために西部大開発が行われていることも分かった。 			

(3) 板書計画

思判表

めあて 中国の急速な経済発展の要因と課題について考え、中国が発展を続けるためには、どのようなことが必要か説明できる。

工業の発展

人口の増加

農業

- 世界への輸出額が増えてきている
- たくさんの機械を輸出している
- 日本にも輸出されている

↓

電子機器や工業製品を多く生産し、日本を含めた世界に輸出している

- 沿岸部の人口密度が高い
- シャanghai 駅に人が多い
- 経済特区をつくり外国の企業を呼んでいる

↓

経済特区をつかったことで、その周辺に人口が集まり、沿岸部が発展している

- 肉や野菜などを使っている
- 豚肉や野菜の生産が多い
- 中国の野菜が日本にも輸出されている

↓

たくさんの農作物がとれるので、国民の食料が自分たちの国で確保できる
余った食料を輸出できる

まとめ

- 中国では、内陸部と沿岸部での格差が広がっているため、格差をなくしていくことが必要。
- 中国では、二酸化炭素の排出量が多いので、環境への配慮が必要。